



2023年12月22日(金)20時よりクリスマスカウンタータと賛美礼拝をお捧げし、イエス様の聖誕に感謝し、喜びを分かち合いました。



今年も神様の恵みと祝福が豊かにありますように



目次

- P2 : CGIカンファレンス(米国・ケンタッキー州)
- P2 : アジアリーダーズサミット(タイ・バンコク)
- P3 : 基督教大韓神様の聖会70周年総会開幕礼拝
- P4 : 担任牧師コラム「信仰と権勢」
- P4 : 純福音船堀教会 創立20周年 感謝礼拝

家族新聞は、WebとLINEでもご覧になれます。

Webページ



公式LINE



キリスト教界を代表する 国際会議と世界宣教への 取り組み

2023年11月、世界宣教のために世界的なキリスト教のリーダーが集まる3つの大会が続けて開催されました。これらの大会には、日本を代表して志垣重政担任牧師が参画しており、純福音東京教会も世界宣教に向け継続的に貢献しております。



米国・ケンタッキー州で行われたCGIカンファレンス 2023.10.31-11.2

CGI (Church Growth International、国際教会成長研究院) が主管するCGIカンファレンスが10月31日から11月2日(現地時間)まで、米国ケンタッキー州ルイビルEWPC (Evangel World Prayer Center、世界福音化祈禱センター) で開かれました。

「世界的なリバイバル、その歓声」(GLOBAL REVIVAL The SOUND) というテーマで開催された今回のカンファレンスでは、CGI総裁 イ・ヨンファン牧師(汝矣島純福音教会担任牧師)が「教会成長の原理(リバイバル)」と題したセミナーを導きました。

カンファレンスを通じて、参加した各国を代表する霊的リーダーと共に、教会のリバイバルのために学び、神様に一心に祈り、求める時間が持たれました。

CGIは、故チョー・ヨンギ牧師が1976年に設立した世界宣教に向けた研究機関であり、世界の主要な都市で教会成長のためのセミナーを毎年開催し、世界中の教会の成長と世界宣教に貢献しています。

CGIの更なる発展と日本をはじめとする世界の福音化のために、引き続きお祈りを願います。



タイ・バンコクで開催されたアジアリーダーズサミット 2023.11.7-8

11月7日・8日、アジアのキリスト教指導者が一堂に会し、アジアリーダーズサミット2023(以下、ALS)が「アジア教会のリバイバル: リバイバルのための教会リーダーの武装」(Revival of Asian Churches: Equipping Church Leaders for Revival) というテーマで、タイのバンコクで開催されました。

ALSは、「アジアの福音化はアジア人が成し遂げよう!」というスローガンを掲げ設立されたアジア牧会者のネットワークです。2013年に香港で6カ国のキリスト教リーダーが集まって始まったこの運動が、今年は12カ国のキリスト教リーダーたちが参加するまでに成長しています。



志垣重政担任牧師は日本を代表して参画し、初日に捧げられた大聖会をはじめ、ALSミーティングや牧会者カンファレンスなど、12カ国のキリスト教リーダーと宣教ビジョンを共有し、アジアリバイバルのために意見交換を行い、共に祈りました。

とりわけ特筆すべきことは、今回のALSは日本と同様に福音化率が1%に満たさないタイの地で開催されたことです。まずは日本やタイに聖霊運動が起こってリバイバルし、さらにアジア全域に波及すると信じ、期待し、お祈りを願います。

基督教大韓神様の聖会70周年総会開幕礼拝

2023.11.14



11月14日、基督教大韓神様の聖会（以下、ギハソン）70周年総会開幕礼拝が韓国の霊山(ヨンサン)修練院で捧げられました。

ギハソン代表総会長イ・ヨンファン牧師（汝矣島純福音教会担任牧師）は「霊的リバイバルの歴史」というテーマでメッセージを取り次ぎ、「これまでリバイバルの中心には私たちの教団があり、先駆者になってきた。そして、これからも私たちは世界のリバイバルを期待しなければならない。」と宣べ伝え、新たに2万教会と300万聖徒のリバイバルを起こすことをビジョンとして宣言しました。

メッセージ後は、志垣重政担任牧師が祝辞でチョー・ヨンギ牧師との奇跡の体験を分かち合い、「四次元の霊性をもって、未来を眺めるように」と参加者を励ました。

教団創立70周年記念行事祝辞全文 (志垣重政牧師)



2018年11月、西大門基督教大韓神様の聖会と汝矣島純福音基督教大韓神様の聖会が統合決議をした日、チョー・ヨンギ先生がとても喜びながら、イ・ヨンファン牧師でなければ統合はできなかつたらうと称賛していたことが、昨日のこのように思い出されます。

それから5年が過ぎ去りましたが、天国でチョー先生が、今日の70周年行事を喜んでおられると信じます。ただただ、主に感謝をお捧げ致します。

その間、会員の皆様と代表総会長のイ・ヨンファン牧師、総会長のイ・テグン牧師、チョン・ドンギョン牧師、キム・ボンジュン牧師をはじめとする役員の皆様の労苦に感謝し、総務のオム・ジンヨン牧師の努力に頭を下げて感謝致します。

1995年、チョー先生に仕えてケニアのナイロビに行った時のことです。イ・ヨンファン牧師も共におられたと記憶しています。7時間車で移動し、動物が生きている草原地帯にある山荘に泊まっておりました。夜9時ごろ、誰かが部屋のドアをノックしたので、開けてみると、チョー先生がいらっしゃいました。チョー先生は気分がすっきりしないから散歩でもしようと言われました。ところが、山荘は周辺が野生動物だらけのところであったため、山荘の中を歩くことにし、小さなプール場に座りました。

その瞬間、チョー先生も私も驚きました。空の星がダイヤモンドのように輝いていたからです。チョー先生は、この星はアブラハムが眺めていた星なのだと言い、その星があまりにも美しくてチョー先生も私も感動して涙を流しました。

その時、私は四次元の霊性の「見つめる法則」について確信を持つようになりました。70年を迎え、われわれの会員皆様が同じ夢を見ながら、80年、90年を、そして100年を眺めながら共に進んでいきますように、お祈り致します。

本教団が堅固であれば、われら海外総会は大きな力を得ることができます。もう一度、主に感謝を捧げ、すべての栄光を主にお返しします。

基督教大韓神様の聖会（ギハソン）について



韓国に初めてペンテコステの信仰を宣べ伝えたのは、アメリカ人宣教師のメアー・ラムシーです。彼女は「韓国に行きなさい」との神様の御声を聞き、約20年後の1928年に韓国宣教の使命を持って韓国に行くことになりました。彼女がペンテコステを広め、その影響により、1953年4月8日ソウルのヨンサン南部教会でギハソン教団が設立されたのです。

韓国戦争の廃墟の中で設立されたギハソン教団は、天幕から始まった汝矣島純福音教会の爆発的な成長とともに、韓国の三大教団に位置づけられました。

ギハソン教団は2008年に分裂という苦痛を味わいましたが、統合に向けて刻苦勉励し、10年の時を経て2018年11月20日に統合しました。

2023年9月26日現在、ギハソンは汝矣島純福音教会を中心として5,492の教会、155万2,775名の聖徒が五重の福音と三拍子の祝福、四次元の霊性で世界聖霊運動に先立ち、福音の伝播と愛の実践に邁進しています。

志垣重政担任牧師コラム

『 信仰と権勢 』



さて、イエスがカペナウムに帰ってこられたとき、ある百卒長がみもとにきて訴えて言った、「主よ、わたしの僕が中風でひどく苦しんで、家に寝ています」。イエスは彼に、「わたしが行ってなおしてあげよう」と言われた。そこで百卒長は答えて言った、「主よ、わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下にも兵卒がいて、ひとりの者に『行け』と言えば行き、ほかの者に『こい』と言えばきますし、また、僕に『これをせよ』と言えば、してくれるのです」。イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた人々に言われた、「よく聞きなさい。イスラエル人の中にも、これほどの信仰を見たことがない。」 — マタイによる福音書 8:5~10 —

世界各地で起きている民主化のデモですが、どんなにデモ隊がパワフルでも政府が警察に与える権勢によって、制圧されてしまいます。しかし、政府が瓦解したら、瞬間的にその権勢を失い、警察隊は総崩れしてしまうでしょう。権勢にはバックグラウンドが必要だからです。

ローマの百卒長が主の許に来て「僕が中風で苦しんでいます。」と訴えると、主は「私が行って治してあげよう。」と快諾されます。しかし、百卒長は己が主を迎える資格がないことを伝え「御言葉さえ頂ければ僕は治ります。」と大胆に告白します。そして、権勢について己の経験を通して信仰告白をしたのです。主は「イスラエル人の中にも、これほどの信仰を見たことがない。」と感動され「行け、あなたの信じた通りになるように。」と癒しをお与えになりました。人の信仰に権勢が加われば、奇跡が起きることを現わして下さったのです。

第一に、権勢とは何かを知りましょう。権勢の根源は、神様にあること、過去も現在も未来も全て主の御手の中にあることを認めましょう。この絶対的主権に挑戦したのが悪魔であり、悪霊です。その悪魔に唆され、罪を犯したのがアダムとエバであり、子孫である私達なのです。

もう一つ悟らなければいけないことは、この世の権勢も全て神の御手にあることです。“全ての人は、上に立つ権威に従うべきである。なぜなら、神によらない権威はなく、おおよそ存在している権威は、全て神によって立てられたものだからである。”(ローマ13:1)善し悪しに関わらず、権勢の源が神様にあることを知りましょう。

だからこそ、正しい道へ導くことができるように、指導者の為に祈る必要があるのです。

第二に、クリスチャンの権勢を知りましょう。“彼を受け入れた者、即ち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。”(ヨハネ1:12)子女は、その家庭にあるものは何でも使うことができます。私達が神の子女であるならば、その無限なる資源を使えるということです。

しかし、肝に銘じておかなければならないことは、これ等の権勢の基は全て神様にあるということです。クリスチャンは権勢の管理者であり、真の権勢者に従順しなければならないのです。同時に、管理者であるならば、卑屈になる必要はなく、主の権勢を基に大胆に命じることができるということです。イエス・キリストの御名に権勢があるからです。

第三に、クリスチャンが行使できる権勢は何かを知りましょう。まず、罪を支配する権勢です。そして、悪霊や呪いを追い払う権勢、病を癒す権勢、更に、天国に入る権勢です。皆さんが、自分自身のアイデンティティを知らなければ、子の権勢を活かすことができません。そして、クリスチャンの権勢は、神様の権勢に従順するとき得ることが出来るのです。

心を尽くし、思いを尽くし、精神を尽くして神様を愛するとき得ることが出来ます。権勢のある信仰、権勢のある祈り、権勢のある告白を通して、権勢のある暮らしをする皆さんでありますように。

純福音船堀教会 創立20周年 感謝礼拝 2023.11.23(木)



11月23日午前11時、純福音東京教会の聖徒一行は、船堀タワー小ホールを訪れ、純福音船堀教会創立20周年感謝礼拝を共に捧げました。

講師として招かれた志垣重政担任牧師(純福音日本総会・総会長)は、「神の御子イエス・キリスト」を主題としてメッセージを取り次ぎ、「ヨハネの福音書は、記録された7つの奇跡に基づき、イエス様が神の御子であることを証するものである。」と伝えました。

また、志垣重政牧師はメッセージの中で自身の様々な奇跡の体験を分かち合い、イエス・キリストの名を信じる者は、神の子となる権能が与えられることを解き明かしました。

今回の礼拝は、純福音八王子教会のファン・ウテ担任牧師が司会と聖書朗読を務め、代表祈禱を純福音葛西教会のオ・ミヌ担任牧師、献金祈禱を純福音船橋愛隣教会のキム・チャンミン担任牧師が務めました。そして、メッセージの後には、純福音清瀬教会のコ・ミソン担任牧師の導きでDCEMと日本総会のために、そして、純福音福生教会のホ・ゴニョ担任牧師の導きにより純福音船堀教会のために祈りの時間が持たれました。最後は、純福音船堀教会の遠藤高志担任牧師の報告と感謝の辞があり、志垣重政牧師の祝詞にて締めくくられました。